海の安全と豊漁を祈願

腰越漁港で新春の船祝い

澄みきった真冬の青空の下、雪化粧した富士山を背景に鎌倉の腰越漁港で1月4日、船祝いが行われた＝写真。

海での安全と豊漁を祈願して、漁船から海辺の人たちにミカンまきをする伝統行事で、海岸には早朝から近所の人たちなどが大勢集まった。

威勢よく大鼓が打ち鳴らり、午前9時から大漁旗をかかげた漁船の上から漁師たちが豊漁を祈って次々にミカンやスナック菓子などをまいた。

腰越漁業協同組合の池田利男組合長は「漁は5日からで1月末からワカメ漁も始まる」と話していた。

工事の安全を祈る

鶴岡八幡宮で手斧始式

今年一年の鶴岡八幡宮修繕と鎌倉市内すべての工事の安全を祈願する「手斧始式」が1月4日、鎌倉市雪ノ下の鶴岡八幡宮で行われた＝写真。

式では、長さ3・88㍍の御神木を舞殿前に運び、宮揚げした材木を一ノ鳥居付近から木遣唄にのせて運び、手斧始めの儀式を行ったのにちなんだ神事と伝えられている。

1181年に源頼朝が同宮を造営した際、海から荷司の工事の安全を祈願する祝詞に続き神事が次々執り行われ、鎌倉市内の建築業者が古式ゆかしい烏帽子、大紋姿で斧振り、墨打ち、手斧打ちなどを奉納した。

工事の安全を祈る厳かな神事を、初もうでに訪れた家族連れたちが遠巻きに見守っていた。（K）

昨年新築移転した湘南鎌倉総合病院長

ひと

塩野正喜（しおのまさき）さん

「命は平等だ。いつでも誰にでも医療を届けたい」の理念で年中無休、24時間患者受け入れの体制をとる湘南鎌倉総合病院の院長を務める。

1988年11月鎌倉市山崎に開院したが、手狭になったことや施設の老朽化に伴い昨年9月、岡本に新築移転した。

約1万6800平方㍍（5千坪）の敷地に地上15階建ての建物がそびえる。午前の診療時は、病院の回りを駐車待ちの車が一周し、地下の駐車場に入っていく。収容台数は約280台。

「移転してから患者さんが1割ほど増えた。横浜や藤沢からもくる」

診療科目は28科あり、外来は一日平均約千3百人、救急を含めると千6百人でそれ以上になることもある。

「救急車も2割増で、平均約40台、多いときで60台ぐらい」

病床数は旧病院と同じだが、延べ床面積は2・5倍の5万8千平方㍍ほどある。

「災害のときに救急診療部にベッドなどを運びこめるよう廊下などの空間を広くとっている」

まだ現実に使用されていないが、屋上にヘリポートがあり、緊急時やいろいろな医療の需要にも応じられる。

「早く治して早く帰す工夫をしている」

542床あるベッドはフル稼働。平均入院日数が9日なので、1カ月の入院患者は千5百人以上になる。

「地域の病院や施設との連携があってこそ、安心と安全な医療を提供できる」

同病院は急性期の患者の治療に当たり、治療の必要がなくなれば退院になる。リハビリや介護の必要な患者は送り出す先を決め、その流れをつくっている。

「死亡の半分近くがガン。今年の着工をめざして旧病院跡地にガン専門の病院を考えている」

ガン治療専用の最新の高度医療機器を設置し、体制を整える計画もある。

「患者を決してことわらないことを前提にしているため、診療の科によっては待ち時間が長いと苦情がきている。さらに優秀な人材をふやしていきたい」

常勤医約150人を含め、現在の職員は千人ほど。独自の保育所設置など、職員が安心して働ける環境づくりをしており、働きやすい病院機能評価「ホスピレート」の認証を全国で13番目に受けた。

「職員が生きがいをもって働ければ、患者さんにも満足してもらえるはず」

自らも整形外科医として週3回ほど外来を担当する。横浜市金沢区在住。71歳。（C）

6トルのムカデに祈る

白山神社で「大注連祭」

古くから伝わる「大注連（おおしめ）祭」が1月8日、鎌倉市今泉地区の白山神社（高橋喜代治総代）で行われた。

同神社は、建久2（1191）年源頼朝が建立したといわれている。

長い参道を進むと、頭上に毛羽立った注連縄が横たわっていた。ムカデを模しているという。稲ワラで編まれた長さ6㍍、胴体は30㌢ほど。36本の足が左右に結ばれており、合わせて72本。頼朝が京都・鞍馬寺から賜った毘沙門天が祀られており、ムカデは毘沙門天の使いとされる。数百年も受け継がれてきた縁起物の注連縄を、この日同地区町内会の有志らが集まって新しい稲ワラで編んだ注連縄に架け替えた＝写真。

病気療養中の総代代行を務める磯崎一雄さんは「ムカデを奉納することで今年の家内安全、五穀豊穣を願う」と話す。江戸中期の狂歌師天廣丸（本名、磯崎廣吉）は磯崎家の出身。

鎌倉朝日を見て来たという女性は「初めて来ました。どんなことをするのか興味があって」とムカデの完成を見守った。（K）

福笹に商売繁盛、家内安全託す

本覚寺で初えびす

「商売繁盛、家内安全お祈り申し上げます」の口上につづき、「ドドン、ドン」の太鼓の音＝写真。

鎌倉市小町の本覚寺で1月10日初えびすの祭りが行われた。

朝から福笹を買い求める人などでにぎわい、威勢のいい掛け声と太鼓の音が一日中鳴り響いた。

福笹は境内の細やかな孟宗竹の枝葉に商売繁盛を祈願して鯛や三つ俵、打ち出の小槌などたくさんの縁起物が飾られている。大きさで3千円、5千円、1万円のものが売られていたが、5千円のものがよく出たという。

水干、烏帽子姿の福娘がお神酒などの接待をし、新年の祈祷のあと、恵比寿堂の前で餅つきも行われた。

はしご乗りに歓声！

浄化センターで消防出初め式

新春の風物詩、鎌倉市消防出初め式が1月6日午前10時から鎌倉市山崎の浄化センターで行われた。

制服姿の消防職員や消防団員はじめ地域や企業の自主防災組織などから約4百人が参加した。周辺の保育園児や家族連れらが見守るなか君が代と共に国旗を掲揚。松尾鎌倉市長による式辞、消防団員永年勤続功労賞などの表彰の後、鎌倉と大船の鳶職組合によるまとい振り、スリル満点のはしご乗りに見物客から歓声が上がった。

真新しいはしごを仲間たちが鳶口でしっかり押えるなか、鳶職の若者たちが7～8㍍のはしごに上り、胆つぶし、谷のぞき、逆さのぼりなどの妙技を次々披露した＝写真。

整列した消防車からの一斉放水のほかレスキュー隊員が火災ビルからロープを伝って地上に降りる場面では子どもが思わず「気持ちよさそう！」と声を出し、周囲の笑いを誘った。

消防団員20年勤続の県知事表彰は次の通り（敬称略）。矢澤茂、中島義仁、石井洋彦、安齊敬、齊藤誠、甘粕清、五十嵐雄大、塩田和彦。市長表彰には稲村ガ崎自治会自主防災組織が選ばれた。（K）

八雲神社でどんど焼き

お供え餅のお汁粉振る舞う

鎌倉市大町の八雲神社で1月10日朝8時から左義長神事が行われ、積み上げられた松飾りやしめ飾り、古神札などが焚き上げられた＝写真。

左義長は「どんどやき」「さいと」ともいわれ、正月の神迎えに用いた門松などを焚いて神を送る行事。この火にあたったり、餅などを焼いて食べると風邪を引かないなどともいわれる。

同神社のお供え餅がお汁粉に入れられて振る舞われ、訪れた人たちは冷え込みに厳しい中、火の回りで暖をとっていた。

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科・漢方皮膚科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
逗子市小坪1－18－4
TEL／0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
診療時間
午前：　9:00～11:30（火～土）
午後：14:00～16:30（火・木・土）
予約制・各種健保扱・自費診療有

漢方診療
外科・内科
●診療時間　午前 9:00～12:00　午後 15:00～18:00
●休　診　日曜・木曜・祝日　水曜午後（定期往診）
鎌倉・常盤の
田中医院
院長 田中迪夫
鎌倉市常盤648 ☎0467(32)1315

訪問診療・往診
（医）湘南友和会
さとうクリニック
認知症対応　在宅リハビリ
在宅医療処置　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携
〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)